

## 西和賀町で発見された松くい虫被害撲滅に向けて —「西和賀まつくいローラ作戦」を実施—

平成22年6月7日に、松くい虫被害防除監視員が西和賀町中村地内(国道107号線巢郷峠から2km手前付近)において、アカマツの枯損木2本を発見しました。

早速、2本の枯損木から材片を採取し林業技術センターに送付しベールマン法及びDNA診断法により分析したところ、アカマツ2本からマツノザイセンチュウを検出した。

この結果から、緊急に花巻農林振興センター、西和賀町、林業技術センター合同による被害木周辺のアカマツ林分詳細調査を実施しました。

被害木から半径70mの範囲内に、感染源となる恐れのある折損木11本確認し潜在被害木等を含め伐倒駆除を6月23日に西和賀町で実施しました。

以上の結果から、松くい虫被害発生に係る連絡会議を7

月6日に西和賀町、森林管理署、森林組合、林業技術センター、森林整備課に案内し開催しました。

西和賀町の松くい虫被害拡大防止対策として、被害拡大への監視強化、新たに被害が発生した場合の徹底駆除を実施することのほかに秋期パトロール「西和賀まつくいバスターズ」を実施しました。

監視エリアを被害流域500haとし、関係機関に呼びかけ、5班体制で調査を実施しました。調査結果は新たな枯損木は発見されなかったが、今後も引き続き監視体制を強化する必要があります。

